

行 革 第 3 6 号
令和 5 年 (2023) 7 月 2 6 日

出雲市行財政改革審議会
会 長 様

出雲市長 飯塚 俊之
(総務部 行政改革課)

出雲市行財政改革大綱及び実施計画の策定について (諮問)

本市は、平成 26 年 4 月に概ね 10 年間の行財政改革の指針である「出雲市行財政改革大綱」を策定し、この方針のもとに取組を進めてきたところです。取組の実施にあたっては、10 年間の前期 5 年間の第 1 期、後期 5 年間の第 2 期とし、それぞれの期間ごとに具体的な取組項目を定めた「出雲市行財政改革実施計画」を策定し、この計画に基づき行財政改革を推進してきました。

これまでの取組の結果、実質公債費比率や将来負担比率などの財政の健全化を示す各種指標の数値は改善傾向にあり、着実に改善は進んでいますが、全国平均と比較すると依然として大きな開きがあります。

また、本市を取り巻く状況に目を向けると、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化や世界情勢を反映した物価高騰など、社会情勢が大きく変化をする中、こうした変化への対応が必要となっています。加えて、少子高齢化の進行に伴う社会保障費の増、激甚化・頻発化する災害への備えなど、新たな需要にも対応していかなければなりません。

つきましては、これまで本市が進めてきた行財政改革の取組を検証するとともに、多様化する市民ニーズや社会情勢への変化に的確に対応し、次世代に高負担を強いることのない持続可能な行財政運営を実現するため、下記のとおり貴会の意見を求めます。

記

1. 「出雲市行財政改革第 2 期実施計画」の成果の検証について
2. 「出雲市行財政改革大綱 (第 3 次)」の策定について
3. 次期「出雲市行財政改革実施計画」の策定について